

企業在籍型職場適応援助者（企業在籍型ジョブコーチ） による支援の効果及び支援事例に関する調査研究

障害者職業総合センター研究部門

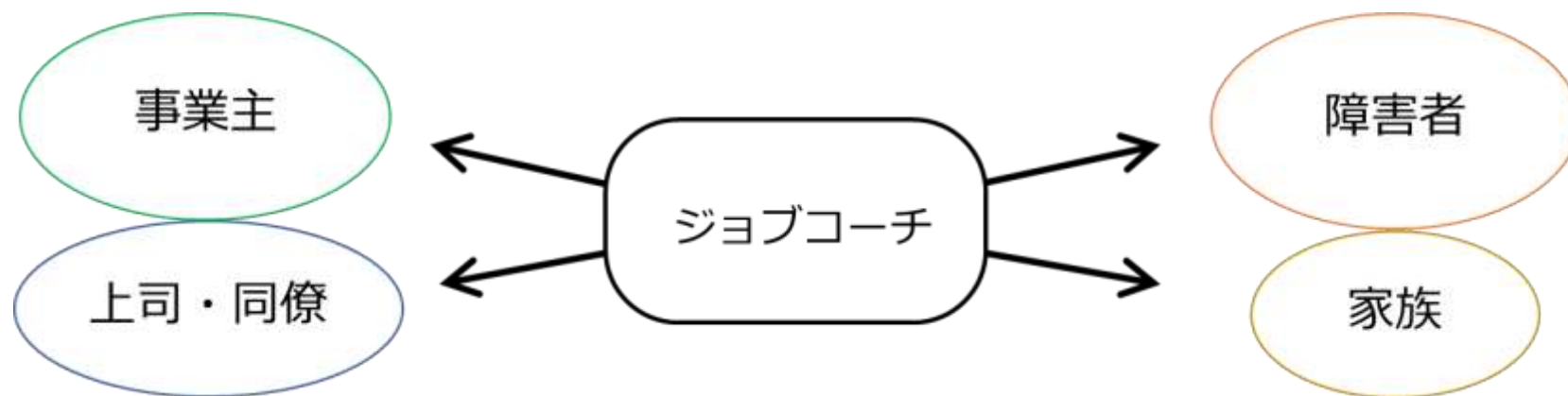
事業主支援部門

内藤真紀子、野澤紀子、岩佐美樹、伊藤丈人

ジョブコーチ支援の内容

- ・障害特性に配慮した雇用管理に関する支援
- ・配置、職務内容の設定に関する支援

- ・職務の遂行に関する支援
- ・職場内のコミュニケーションに関する支援
- ・体調や生活リズムの管理に関する支援



- ・障害の理解に係る社内啓発
- ・障害者との関わり方に関する助言
- ・指導方法に関する助言

- ・安定した職業生活を送るための
家族の関わり方に関する助言

アンケート調査

○目的

企業在籍型ジョブコーチを配置している企業における障害者の雇用状況、定着状況、企業在籍型ジョブコーチの役割と効果、課題等を把握する

○対象

2013年度～2017年度にジョブコーチ養成研修を修了した企業在籍型ジョブコーチが所属する事業所の管理職及び企業在籍型ジョブコーチ

○実施時期

2019年1月～2月

(1) 事業所調査

対象：企業在籍型ジョブコーチが所属する事業所の管理職

回答：248社（回収率69.9%）

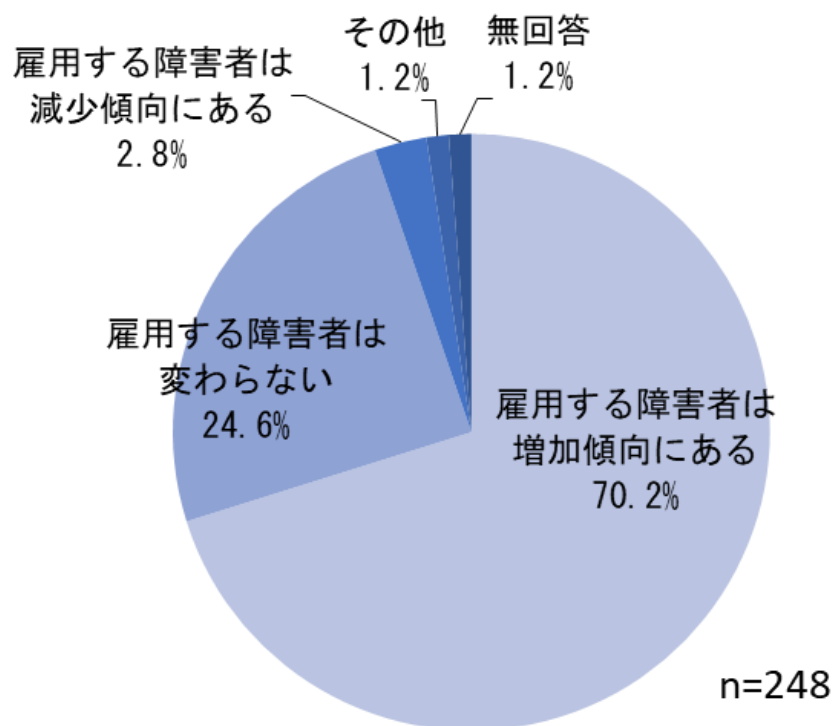
(2) 個人調査

対象：企業在籍型ジョブコーチ

回答：570名（回収率65.0%）

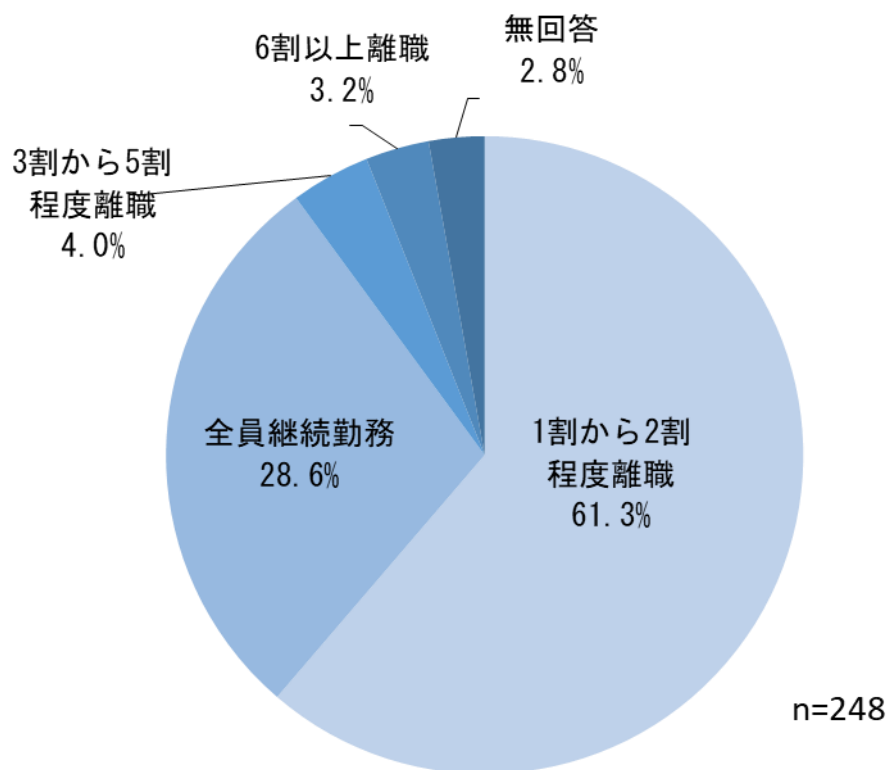
結果（事業所の管理職が回答）

＜障害者雇用の動向＞



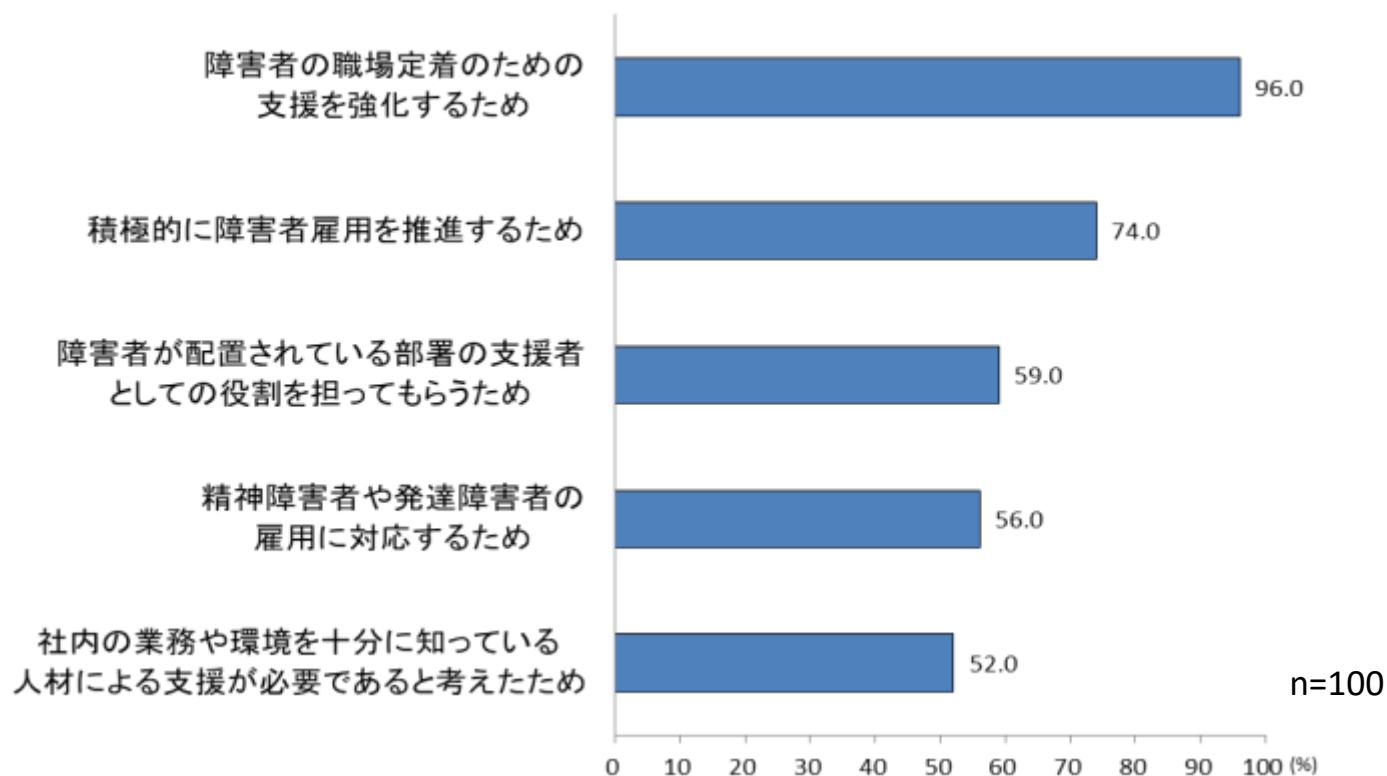
結果（事業所の管理職が回答）

＜障害者の定着状況（過去3年）＞



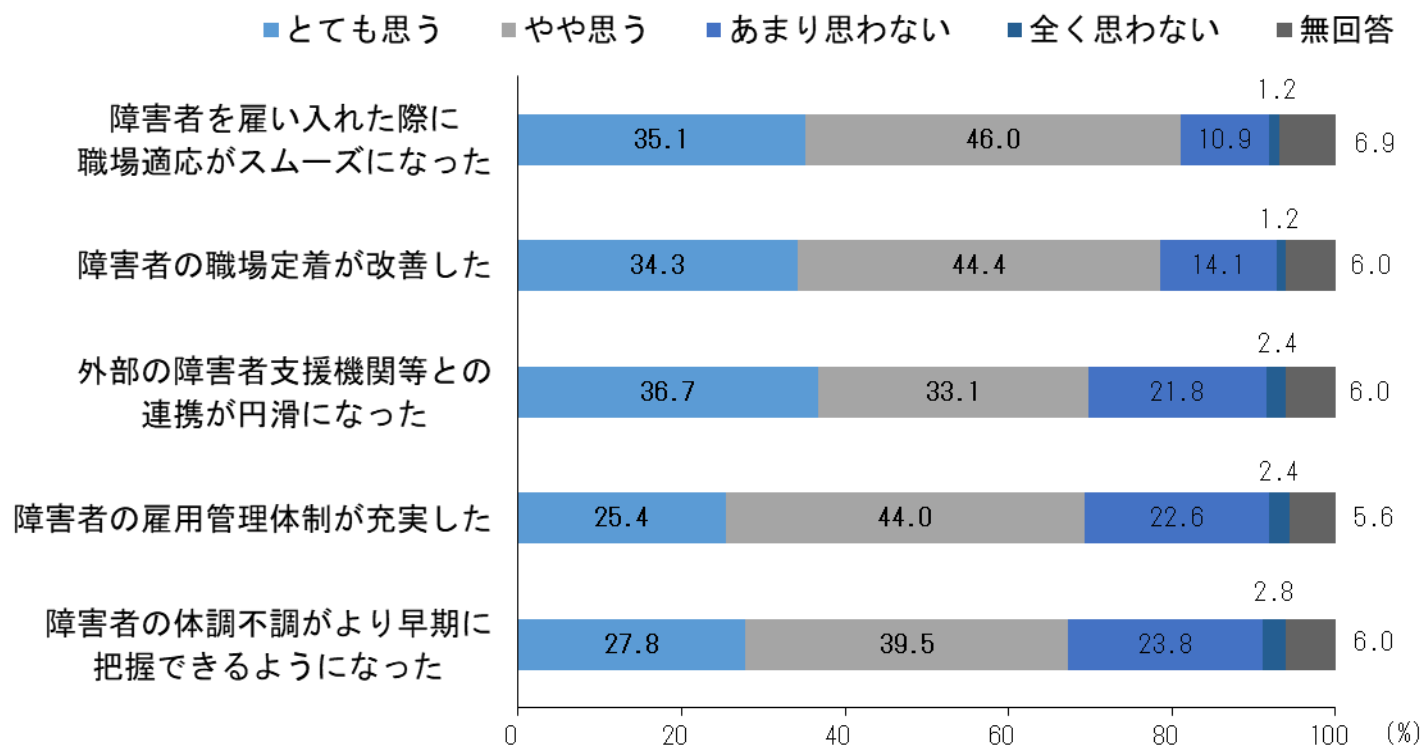
結果（事業所の管理職が回答）

<企業在籍型ジョブコーチの配置理由（上位5項目）>



結果（事業所の管理職が回答）

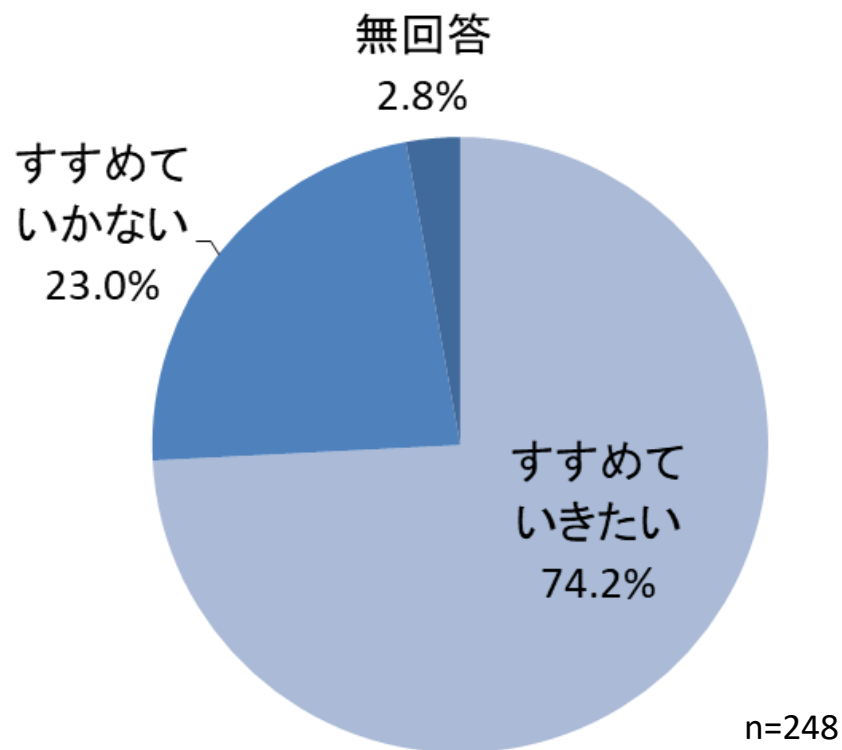
<企業在籍型ジョブコーチ配置の効果（上位5項目）>



n=248

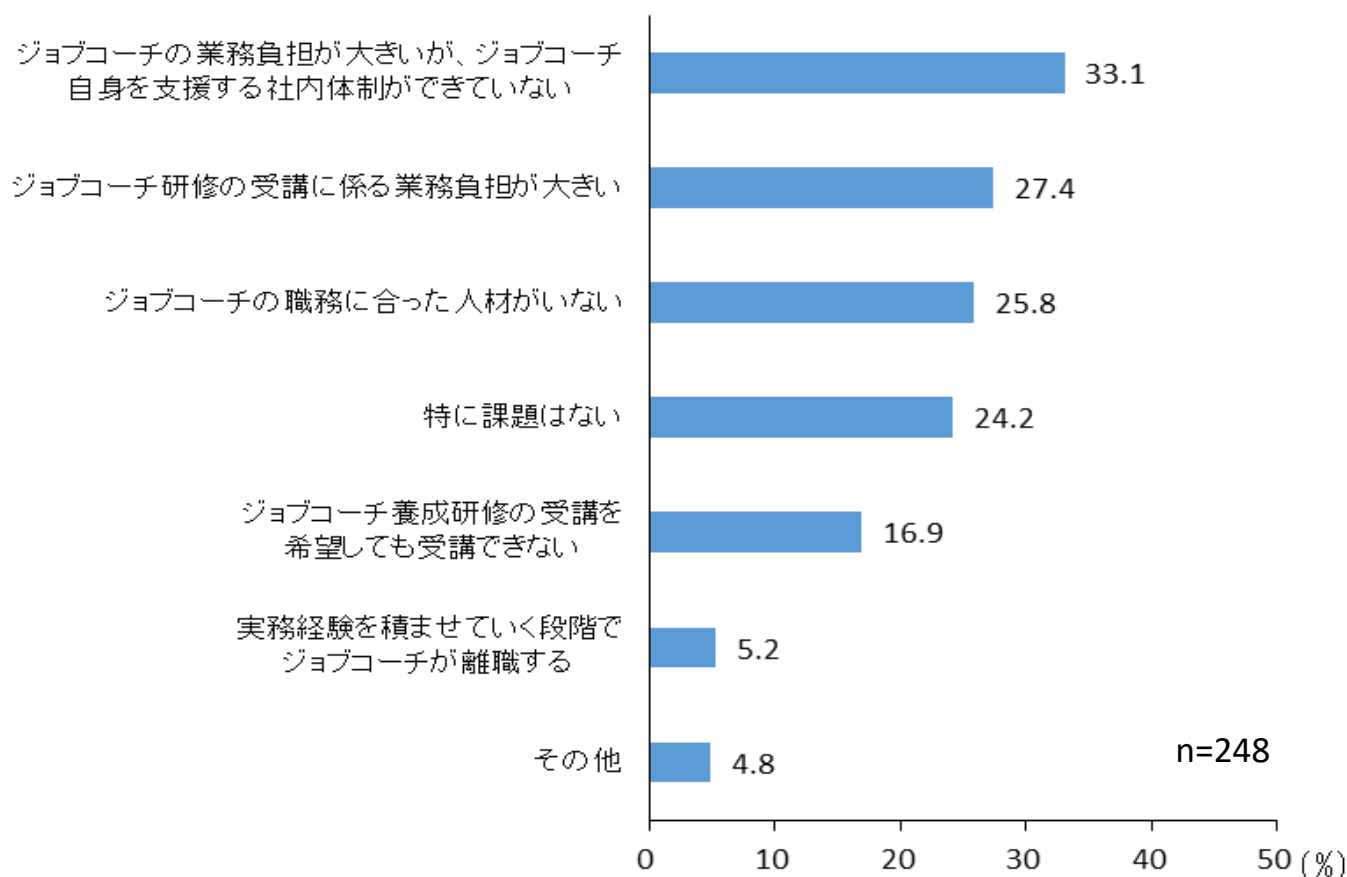
結果（事業所の管理職が回答）

＜企業在籍型ジョブコーチ配置の方針＞



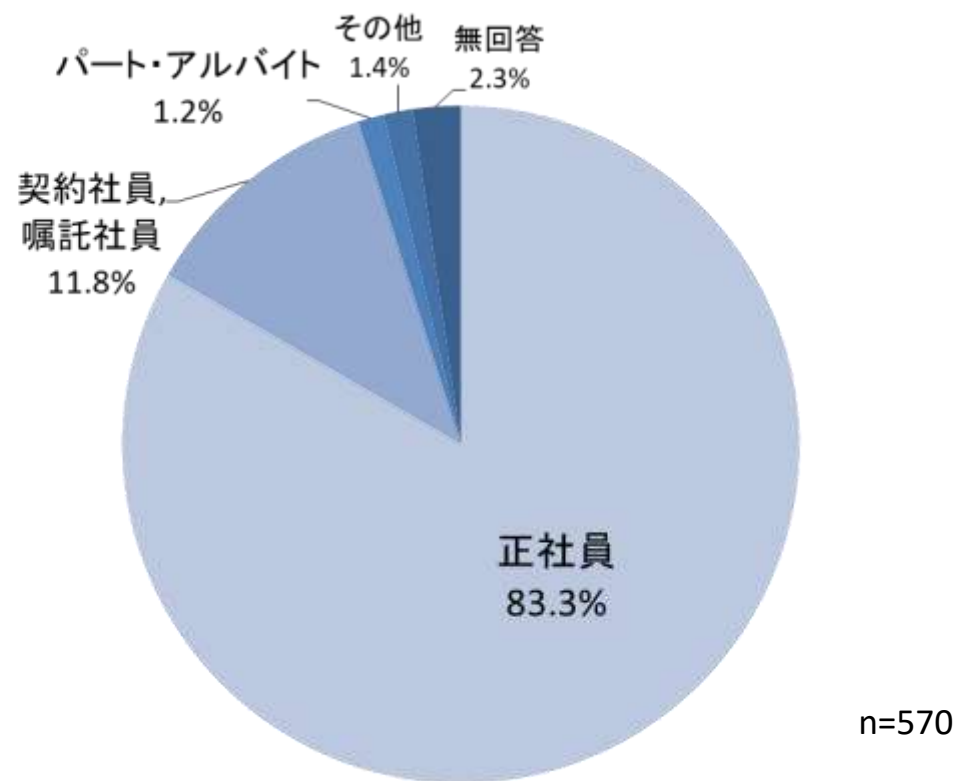
結果（事業所の管理職が回答）

＜企業在籍型ジョブコーチの配置をすすめる上での課題＞



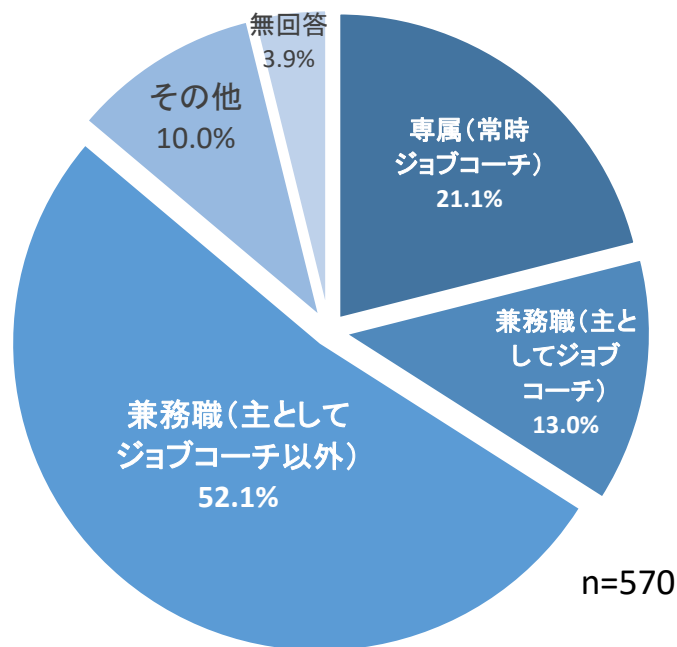
結果（企業在籍型ジョブコーチが回答）

＜企業在籍型ジョブコーチの雇用形態＞



結果（企業在籍型ジョブコーチが回答）

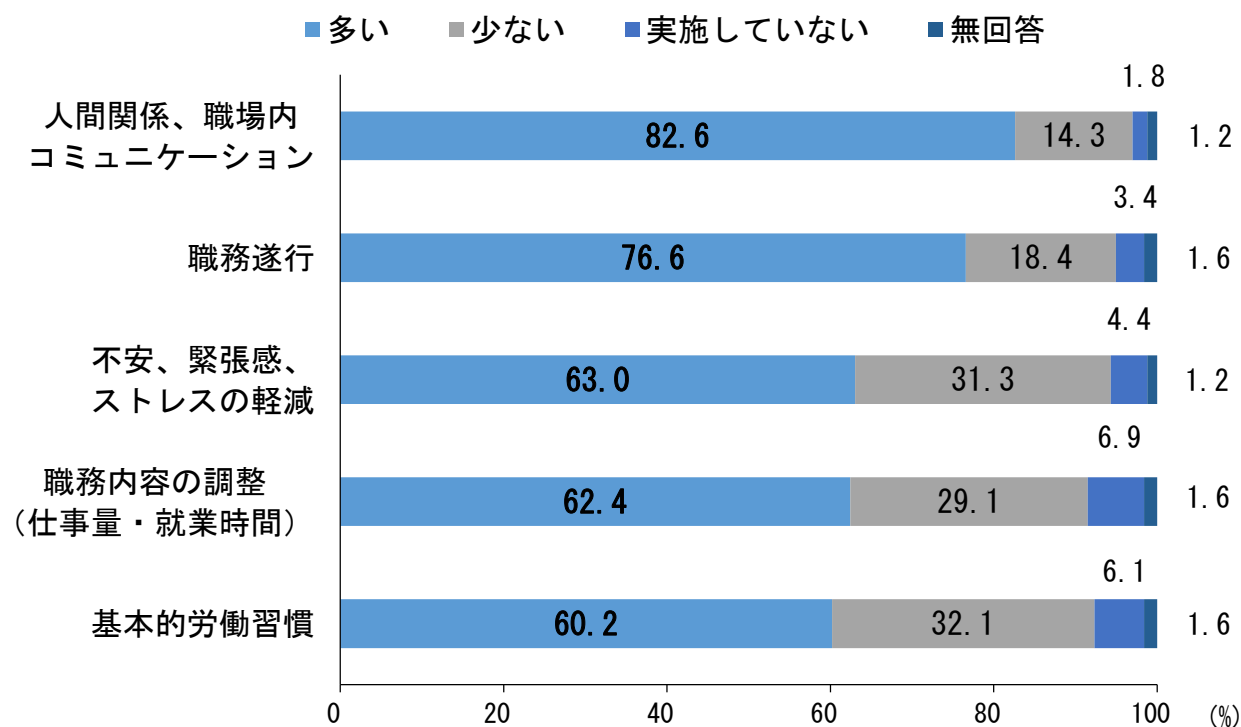
＜企業在籍型ジョブコーチとしての従事状況＞



- ・ 常時ジョブコーチ業務に従事している者は2割程度。
- ・ 兼務職（主としてジョブコーチ以外）の一週間あたりのジョブコーチ業務従事時間は平均6時間。
- ・ 「その他」ジョブコーチとしての位置づけが不明確、支援を実施していない、など。

結果（企業在籍型ジョブコーチが回答）

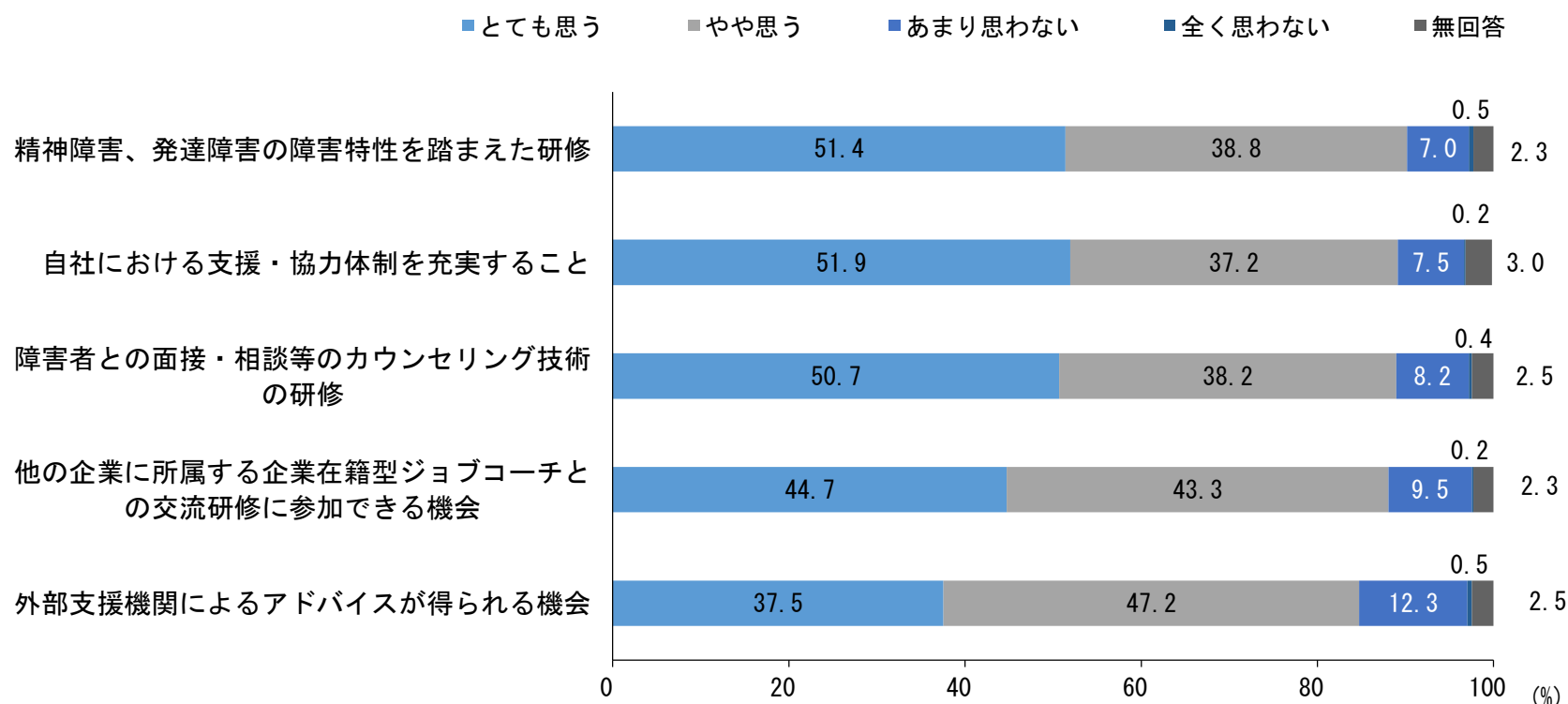
<頻度が多い支援内容（上位5項目）>



n=570

結果（企業在籍型ジョブコーチが回答）

＜企業在籍型ジョブコーチの役割を担うために必要なこと（上位5項目）＞



n=570

ヒアリング調査

アンケート調査協力事業所、リファレンスサービス、各自治体の雇用事例集をもとに31社を選定。

主として障害者雇用に携わる人事・労務担当者、企業在籍型ジョブコーチ等に対して、2019年4月～10月に実施。

<主なヒアリング内容>

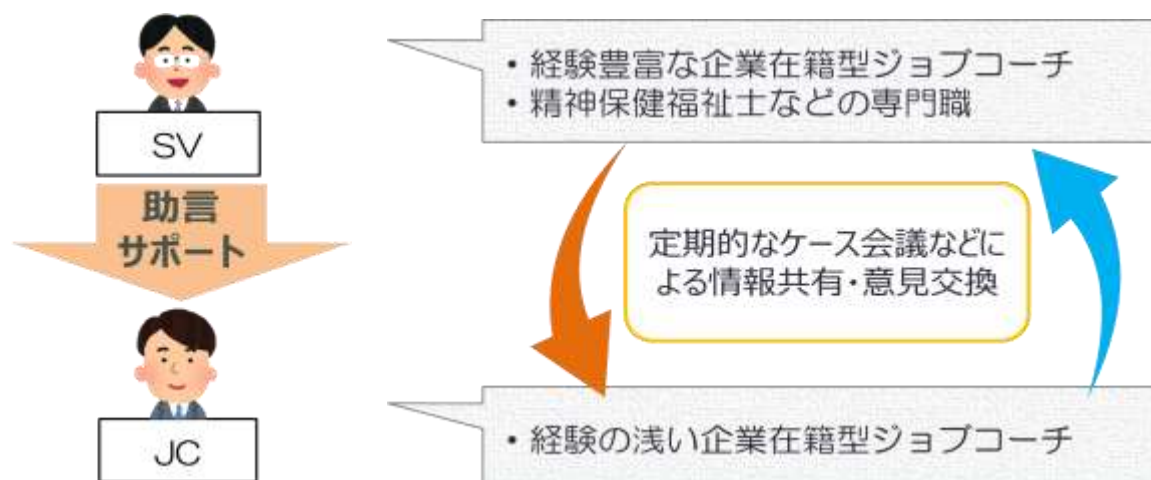
- ・企業在籍型ジョブコーチの属性
- ・企業在籍型ジョブコーチの職務内容
- ・ジョブコーチ養成研修受講後の変化
- ・企業在籍型ジョブコーチを取り巻く課題とそれに対する解決方法
など

ヒアリング調査結果

～企業在籍型ジョブコーチが活躍している事例～

①企業在籍型ジョブコーチに対する支援・協力体制

②企業在籍型ジョブコーチに対するスーパーバイズ



③企業在籍型ジョブコーチのキャリア形成

- ・スキルアップと並行したキャリアアップの仕組み

④精神障害者の職場定着支援ノウハウの蓄積

- ・精神障害者の支援ノウハウの提供・助言の要望
 - 地域センター等外部支援機関の利用
 - 同業他社の取組など、ノウハウの共有・意見交換の場の必要性



企業在籍型ジョブコーチが 活躍するために必要な条件

- 役割の明確化、職務の配分
- キャリアアップの仕組み
- 社内の支援体制の構築
- 支援スキルのブラッシュアップ

など